

令和5年度

参加無料

第1回 民間技術説明会

ハイブリッド開催

●開催日時

2023年11月21日(火) 13:30~16:30
(13:00受付開始)

●開催場所

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所
(広島市南区宇品海岸3-10-28 5階会議室)

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

●形態・定員

ハイブリッド開催
(会場聴講 30名+オンライン聴講 100名)

●紹介技術

- ・カルシア改質土のバッチ式原位置混合工法
- ・浚渫土の利活用を広げる「カルシアバケット」
- ・地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」
- ・SQS被覆システム
- ・チタンロッド内部挿入陽極工法
- ・完全非破壊で鉄筋腐食を判定「腐食測定機『Dr.CORR』」

●主催



国土交通省

国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

CPDプログラム認定:JSCE23-1292[2.5単位]

※土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。

CPDSプログラム認定: 840387 [3ユニット] (会場聴講者のみ対象)。

本講演会はCPDSの学習履歴申請を主催者が行います。



お申し込み方法

メールまたは右のQRコードにて、【必要事項】①~⑦(⑧⑨)をご記入の上お申し込みください。

E-mail: <https://forms.office.com/r/Sp3BL95Vi0U>

申込〆切: 11月6日(月)

【必要事項】①氏名 ②ふりがな ③所属 ④住所 ⑤電話番号 ⑥E-mail

⑦参加形態 ・会場 ・オンライン

⑧ CPD プログラム申請 ○希望する ×しない

(⑦で会場を選択した方↓)

⑨ CPDSプログラム申請 ○希望する ×しない

※個人情報、本説明会の開催目的以外には使用しません。

※申込締切後の申し込みは、原則受付できませんのでご注意ください。



令和5年度 第1回 民間技術説明会

民間技術説明会とは？

中国地方の港湾工事、調査等で活用が期待される民間等で開発された新技術について、情報収集や発信の場として、殆ど毎年技術説明会を開催しており、企業や他省庁の方など多数ご参加いただいております。

本技術説明会は、土木学会CPD制度の継続学習プログラムならびに、全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）に認定されておりますので、技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場としてもご利用いただけます。参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

なお、本技術説明会で紹介する新技術を随時募集しています。詳細は当事務所のHPをご覧ください。

技術概要

・カルシア改質土のバッチ式原位置混合工法（JFEスチール株式会社）

サンドコンパクションパイル船に取り付けた密閉式バケットを海底面表層に圧入して、バケット内で海底粘土とカルシア改質材を混合し、原位置で軟弱な海底粘土地盤の表層2.5mを改質する工法。

港湾関連民間技術の確認審査・評価事業（第22006号）一般財団法人 沿岸技術研究センター

・浚渫土の利活用を広げる「カルシアバケット」（五洋建設株式会社）

軟弱な浚渫土砂のカルシア改質土やセメント改良などに広く使用が可能なバケット。基本構造はバケットに3層のメッシュ構造をもち、油圧などの動力を使用せず効率的な改良が可能。

NETIS登録番号 KKK-220001-A

・地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」（徳倉建設株式会社）

護岸・岸壁や道路等に発生した地下空洞を、袋体（ジュウテンバッグ）とLSS流動化処理土で補強する技術である。従来はLSS等充填材をそのまま空洞へ充填していたが、袋体（ジュウテンバッグ）を活用することで、周辺に流出することがないため、空洞化の原因を補修しなくても空洞を補修することが可能。

NETIS登録番号 CBK-210001-A

・SQS被覆システム（みらい建設工業株式会社）

港湾・空港施設及び道路・橋梁等におけるコンクリート部材に対する塩害及び水密性（防水性）及びアルカリ骨材反応等の対策を目的とした表面被覆工法であり、新設および既設の構造物に適用できる被覆システム。

港湾関連民間技術の確認審査・評価事業（第20002号）一般財団法人 沿岸技術研究センター

・チタンロッド内部挿入陽極工法（東興ジオテック株式会社）

棒状に加工したチタン製の陽極（チタンロッド陽極）を、コンクリート表面から所定の間隔をもってコンクリート内部に挿入・設置し、直流電源装置のプラス側をコンクリート内部に設置した陽極に、マイナス側の陰極を鉄筋に接続して防食回路を形成し、鉄筋の腐食を防止するタイプの電気防食工法。

・完全非破壊で鉄筋腐食を判定「腐食測定機『Dr.CORR』」（飛鳥建設株式会社）

コンクリート構造物中の鉄筋の腐食状態を把握するためには、コンクリートを一部はつり出す必要があったが、本測定機では完全非破壊での測定が可能となる技術。

説明会の資料、URL、アンケート様式、注意事項などは、
後日送付します。（11月中旬頃の予定）

【お問い合わせ先】 広島港湾空港技術調査事務所 調査課

〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F

TEL：082-250-1902 <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo/>



広島技調

検索